

2019.12.17

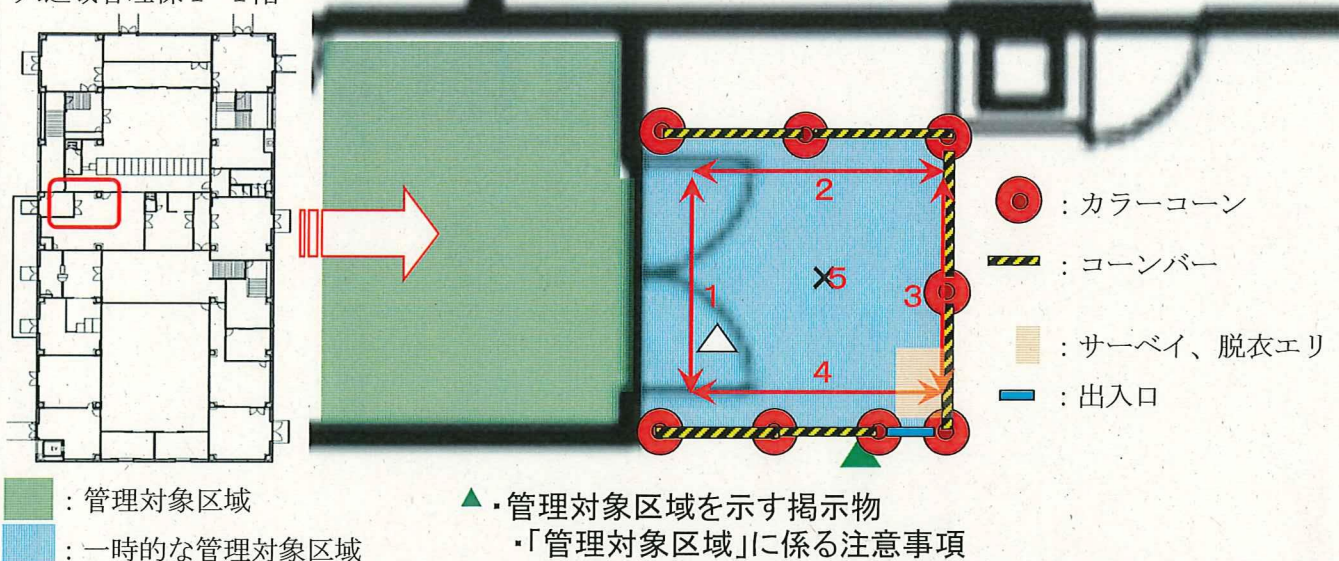
放射線サーベイ記録

測定目的	一時的な管理対象区域復旧に伴う 状況確認サーベイ	測定項目	■ γ ■ 直接法 ■ ダスト □ 核種分析
測定場所	入退域管理棟 1階 ER室	測定者	
測定計画	[Ⅱ-1] 管理区域及び管理対象区域の区域区分変更に係る測定記録	測定器 (換算定数)	F1-SC-042 F1-GMAD-506 (30.1%) F1-DSH-061 (832.8 l/min)
測定日時	2019/12/17 13:20 ~ 13:50		

×: 空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)↔: 境界表面線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)△: ダスト (Bq/cm^3)

入退域管理棟 1 階

ER室



表面汚染密度測定結果

測定器 : F1-GMAD-506

機器効率 : 30.1%

BG : 70cpm

<直接法>

● 換算定数 : $7.06 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^2 \cdot \text{cpm}$ ● 検出限界値 : $4.6 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^2$

● 測定箇所の詳細:

- ・一時的な管理対象区域の床面
- ・一時的な管理対象区域に面している壁面
- ・一時的な管理対象区域に面しているカラーコーンおよびコーンバー表面

● 測定結果 : すべて検出限界値未満。

空气中放射性物質濃度(ダスト)

サンプラー : F1-DSH-061

採取時間 : 13:25~13:35

採取流量 : 8328 (832.8L/分)

<GMAD測定結果>

測定器 : F1-GMAD-506

機器効率 : 30.1%

BG : 65cpm

測定値 : 65cpm

換算定数 : $5.44 \times 10^{-8} \text{Bq/cm}^3 \cdot \text{cpm}$ 検出限界値 : $3.5 \times 10^{-6} \text{Bq/cm}^3$

測定結果 : 検出限界値未満。

「汚染のおそれのない管理対象区域外の区域⇒管理対象区域外(非管理区域)に変更する際の基準

○ 表面汚染密度:

4Bq/cm²を超えないこと。ただし、4Bq/cm²を超えない検出限界値で測定を行い、その検出限界値を超える遊離性汚染が発見された場合には除染を行う。

○ 線量率: 2.6 $\mu\text{Sv/h}$ (1.3mSv/3ヶ月) を超えないこと。○ 空气中放射性物質濃度: $2.0 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ (Cs-134,137代表) を超えないこと。

境界線量当量率測定結果

測定器 : F1-SC-042

● 測定結果

境界表面線量当量率 (γ 線量率 ($\mu\text{Sv/h}$))

1: 0.06

2: 0.06

3: 0.06

4: 0.06

空間線量当量率 (γ 線量率 ($\mu\text{Sv/h}$))

5: 0.06

※ すべて 2.6 $\mu\text{Sv/h}$ (1.3mSv/3ヶ月) 未満。